



循環器内科って？



循環器内科は心臓及び血管に係る病気を扱う診療科です。当院では心臓

病センターの一部門として心臓血管外科と共に診療にあたっています。担当しているスタッフは現在循環器専門医3名を含む常勤9名で、外来・病棟の診療と救急医療の他循環器特有の様々な検査を行っています。

扱う主な疾患は狭心症、心筋梗塞、心不全、弁膜症、不整脈、大動脈解離、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症などで場合によっては透析科と連携して透析用内シャントなどの治療も行なっています。

24時間365日救急対応

循環器疾患の特徴として、状態の変化が早いこと、致命的になることが多いこと、一方で治療がうまくいったときには本人の自覚症状はほとんど消失して社会復帰できることが多いことなどがあげられます。こうした疾患の特徴を受け、特に急性期病院における循環器診療にとって救急対応が非常に重要となります。普段どれほど患者さまを診ていたとしても、その方の救急に対応できなければ診療の責任を果たせないからです。当院では心臓病センターとして院内に独立した当直医を確保し24時間365日院内外のあらゆる循環器救急に対応しています。特に急性心筋梗塞については来院後1時間以内には緊急冠動脈造影を行える体制を整えています。

また、当科では平日午前毎日2人が外来を担当しており、その内1人が循環器に関する初診を受け持っています。こうすることで、初診の方の中に混じる緊急で治療が必要な方を見逃さず適切なタイミングで治療ができるよう心がけています。

薄井 宙男（循環器内科部長）

次のような症状の場合は、循環器内科の受診をお勧めします。

胸や背中が痛くなる、苦しくなる
 動悸がする・脈が速い・脈が遅い
 脈が飛ぶ・めまいがする
 意識がなくなる・足がむくむ
 息切れがする、息苦しくなる
 歩くと足がだるくなる、痛くなる
 健康診断や人間ドックで心雑音、心電図異常などの異常を指摘された

高血圧症は診療所をお勧めしています

受診されることが多い疾患で、当院のような急性期病院へ通院することをお勧めしないものとして高血圧症があります。これは高血圧症が慢性の疾患であり長期にわたって通院する必要があるためです。急性期病院は外来医師が日替わりのため同じ先生の受診が困難となること、高血圧症の多くは病院でしか行えない検査が必要となることが少ないこと。これらを考えると、毎日同じ先生が診療している診療所の方がはるかに通いやすいと考えられます。循環器内科では病診連携を推進していますので、かかりつけでないからといって循環器救急でお断りすることはありません。こうした理由から高血圧症のみで初診される方については診療所をお勧めしています。

今後とも必要な方に必要な診療を提供できるよう努力していきます。

